

日本台湾学会第八回学術大会プログラム

(2006.4.13現在)

主催 日本台湾学会

後援 財団法人交流協会

日時：2006年6月3日（土）10:00～

場所：一橋大学国立東キャンパス1号館・2号館お

よびマーキュリータワー

〒186-8601 東京都国立市中2-1

TEL：042-580-9025、FAX：042-580-9016

参加費：2000円（報告論集代）

スケジュール：

1. 受付開始：9：30
2. 午前の部：10：00～11：50
3. 午後の部：13：30～15：20
4. 記念講演：15：30～17：00
5. 故石田浩理事長を偲ぶ集い：17：10～17：30
6. 会員総会：17：30～18：00
7. 懇親会：18：30～20：30



<分科会報告>

第1分科会 エスニック・マイノリティからみる台湾の多文化主義—人類学的考察

10：00～11：50（休憩） 13：30～15:20 第1会場（東1号館1201番教室）（午前・午後、2セッション企画）

企画責任者：宮岡真央子（福岡大学）

座長：三尾裕子（東京外国語大学）

報告者

<午前：中華民国憲法下での多文化主義とエスニック・マイノリティの生存戦略>

石垣直（東京都立大学大学院）「現代台湾の多文化主義と先住権の行方—土地をめぐる権利回復運動の事例から」

木村自（国立民族学博物館）「躊躇するアイデンティティ—台湾の多文化主義と回民（中国ムスリム）の生存戦略」

<午後：多元文化の賞揚とエスニック・マイノリティへのまなざし>

宮岡真央子（福岡大学）「台湾における<多元文化>の語られ方—台湾原住民族村落のコミュニティ開発を事例として」

横田祥子（東京都立大学大学院）「〈文化中国〉意識と多文化主義のせめぎあい—台湾・東南アジア系移民の受容」

コメンテーター

山路勝彦（関西学院大学）、呉天泰（東華大学）、

第2分科会 越境するモダニズム—台湾現代詩の展望

10:00~11:50（休憩） 13:30~15:20 第2会場（東1号館1202番教室）（午前・午後、2セッション企画）

企画責任者・座長：三木直大（広島大学）

報告者

三木直大（広島大学） 「「現代派運動」とは何か」

上田哲二（日本台湾学会会員） 「台湾現代詩の「異郷」と「家郷」」

阮美慧（東海大学） 「台湾現代詩と日本の戦後詩」

松浦恆雄（大阪市立大学） 「台湾現代詩の実験」

コメンテーター

杜國清（カリフォルニア大学サンタバーバラ校）、山口守（日本大学）、陳明台（中正大学）、池上貞子（跡見女子大学）

第3分科会 日本統治下台湾に向けられた個人の語りの探求

10:00～11:50於第3会場（東1号館1301番教室）（午前、1セッション企画）

企画責任者・座長：富田哲（淡江大学）

報告者

Paul Barclay（ラファエットカレッジ） "Abstract Thought as the Lowest Common Denominator: What Early Japanese Travel Narratives to Taiwan's Interior Can Teach Us"(最小公倍数としての抽象的思考－初期日本人旅行者の台湾山地に対する語りがわれわれに教えるもの－)

Ann Heylen（ルール大学ボーフム校） "Becoming Japanese: Illustrations from the Memoirs of Wu Sanlian and Ye Rongzhong"(日本人になること－呉三連と葉榮鐘の日記の記述－)

コメンテーター

富田哲（淡江大学）、磯田一雄（大阪経済法科大学）

第4分科会 日本・台湾・中国関係史の新展開

13:30～15:20 第3会場（東1号館1301番教室）（午後、1セッション企画）

企画責任者：松田康博（防衛庁防衛研究所）

座長：国分良成（慶應義塾大学）

報告者

清水 麗（国士舘大学）「蔣経国時代の日台関係の実質と位置づけ」

松田康博（防衛庁防衛研究所）「中台関係における日本」

コメンテーター

井上正也（神戸大学大学院）、岡田充（共同通信社）

第5分科会 自由論題報告Ⅰ（歴史分野）

13:30～15:20 第5会場（東1号館1304番教室）（午後、1セッション企画）

座長：松田吉郎（兵庫教育大学）

報告者

金戸幸子（東京大学大学院）「1930年前後における沖縄県八重山地方から植民地台湾への〈周縁〉に生きる人々の自発的な移動—女性の移動を中心として—」

陳虹ブン（東北大学大学院）「台湾省行政長官公署時期(1945～1947)台湾における教科書編修に関する—考察—国民学校・中等学校暫用国語課本を中心に—」

コメンテーター

松田京子（愛知教育大学）、所澤潤（群馬大学）

第6分科会 自由論題報告II（文学分野）

13:30～15:20 第4会場（東1号館1303番教室）（午後、1セッション企画）

座長：澤井律之（京都光華女子大学）

報告者

朱恵足（中興大学）「皇民化時期において植民地台湾の葬儀をフィクションにする」

沈美雪（弘前大学大学院）「漢字文化圏における俳句受容の現状と問題点」

コメンテーター

星名宏修（琉球大学）、岡崎郁子（吉備国際大学）

第7分科会 自由論題報告III（政治分野）

10:00～11:50 第5会場（東1号館1304番教室）（午前、1セッション企画）

座長：浅野豊美（中京大学）

報告者

林果顕（政治大学大学院）「戦後台湾の統治体制における戦争遺産（1945 - 1992）」

竹茂敦（法政大学大学院）「1950年代初頭における台湾の外交関係断絶国との実務関係」

コメンテーター

若畑省二（元信州大学）、前田直樹（広島大学）

◎記念講演会

15:30～17:00 会場：東2号館2201番教室

講演者：張勝彦先生

題目：「戦後台湾における台湾研究について－台湾史研究を中心として－」

※講演は日本語で行われます。

○故石田浩理事長を偲ぶ集い

17:10～17:30 会場：東2号館2201番教室

○会員総会

17:30～18:00 会場：東2号館2201番教室

○懇親会

18:30～20:30 (会場：マーキュリータワー7Fマーキュリーホール)

[日本台湾学会ホーム](#)